



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
コード番号 5603 URL <https://www.kogi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,384	5.3	207	116.8	221	129.8	157	213.3
2023年3月期第1四半期	6,061	23.3	95	—	96	—	50	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 686百万円 (57.2%) 2023年3月期第1四半期 436百万円 (81.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	48.06	—
2023年3月期第1四半期	15.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	32,025	15,609	38.5	3,773.97
2023年3月期	32,458	15,036	36.4	3,614.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 12,340百万円 2023年3月期 11,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,480	6.5	420	109.0	330	112.4	200	120.1	60.98
通期	28,150	5.3	1,000	23.8	875	22.1	540	15.7	164.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	3,362,163株	2023年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	92,287株	2023年3月期	92,287株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	3,269,876株	2023年3月期1Q	3,305,450株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により正常化の動きが見られたものの、急激な為替相場の変動や海外経済の減速懸念、原材料・原油価格の高騰による物価上昇圧力が高まる等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、2022年度を初年度とする第7次3カ年計画の2年目にあたり、『C&Eへのこだわり』をキーワードに、①脱炭素社会に向けて、②DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、③人材育成、の3点を重点課題に設定し、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化に努めてまいりました。

このような事業環境において当社グループは、原材料高騰への対応として製品の販売価格は正による収益の確保ならびにコスト改善諸施策の一層の推進に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 63億8千4百万円（前年同期比 5.3%増）、営業利益 2億7百万円（前年同期比 116.8%増）、経常利益 2億2千1百万円（前年同期比 129.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 1億5千7百万円（前年同期比 213.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① Casting Field

鋳型は、鍛鋼用鋳型の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。ロールは、主要顧客先の国内電炉メーカー向け案件や輸出案件が好調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鋳物は、各主要顧客先の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。大型産業機械用鋳物は、大型工作機械、プレス機および減速機向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。小型鋳物は、土木用鋳物が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。デンスパーは、主要顧客先の需要が伸び悩んだものの、価格是正による収益確保に努め、売上高は、前年同期並みで推移しました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、中国経済の減速や競合他社との競争激化により、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、52億9千2百万円（前年同期比 0.7%減）、セグメント利益は、1億7千1百万円（前年同期比 80.7%増）となりました。

② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、大型案件の工事が進捗したことにより、売上高は、前年同期を上回りました。送風機は、受注は確保したものの、売上が7月以降に寄与することから、売上高は、前年同期を下回りました。環境・省エネ商品のトランスバクターは、半導体向けが好調でしたが、自動車向けが低迷し、売上高は、前年同期並みで推移しました。

この結果、当事業の売上高は、9億9百万円（前年同期比 90.5%増）、セグメント利益 5千1百万円（前年同期 セグメント損失8百万円）となりました。

③ Environment Field・機能材料

KCメタルファイバーは、自動車向け摩擦材の需要が低迷し、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、1億7千8百万円（前年同期比 27.0%減）、セグメント利益 2百万円（前年同期比 88.5%減）となりました。

④ その他の事業

当事業の売上高は、4百万円（前年同期比 47.3%減）、セグメント損失 △0百万円（前年同期 セグメント利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、192億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億4千1百万円減少いたしました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が13億4百万円減少した一方、電子記録債権が3億3千9百万円増加したことなどによります。

固定資産は、127億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加いたしました。これは、主として投資有価証券が2億9千5百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、320億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千2百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、138億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6千2百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が2億1千6百万円、賞与引当金が2億4百万円減少したことなどによります。

固定負債は、25億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4千2百万円減少いたしました。これは、主として退職給付に係る負債が4億9百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、164億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、156億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7千2百万円増加いたしました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が2億1千1百万円、退職給付に係る調整額が2億5百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の36.4%から38.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,101	2,175
受取手形、売掛金及び契約資産	10,874	9,570
電子記録債権	2,577	2,916
商品及び製品	1,508	1,547
仕掛品	1,270	1,432
原材料及び貯蔵品	1,524	1,467
その他	154	158
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,010	19,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,967	2,965
機械装置及び運搬具（純額）	4,026	4,000
土地	1,220	1,220
その他（純額）	1,433	1,467
有形固定資産合計	9,646	9,654
無形固定資産	264	268
投資その他の資産		
投資有価証券	2,389	2,685
長期貸付金	1	0
繰延税金資産	1	1
その他	144	146
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,536	2,834
固定資産合計	12,448	12,757
資産合計	32,458	32,025

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,773	3,556
短期借入金	7,611	7,508
未払法人税等	213	15
賞与引当金	292	88
その他	2,726	2,685
流動負債合計	14,618	13,855
固定負債		
長期借入金	1,593	1,503
繰延税金負債	372	622
退職給付に係る負債	547	138
その他	289	295
固定負債合計	2,802	2,560
負債合計	17,421	16,415
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	7,742	7,785
自己株式	△98	△98
株主資本合計	10,248	10,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	969	1,180
繰延ヘッジ損益	△0	△8
為替換算調整勘定	609	680
退職給付に係る調整累計額	△8	196
その他の包括利益累計額合計	1,569	2,049
非支配株主持分	3,219	3,269
純資産合計	15,036	15,609
負債純資産合計	32,458	32,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,061	6,384
売上原価	5,258	5,492
売上総利益	802	891
販売費及び一般管理費	706	683
営業利益	95	207
営業外収益		
受取利息及び配当金	44	50
為替差益	1	14
その他	6	4
営業外収益合計	52	68
営業外費用		
支払利息	37	29
電子記録債権売却損	10	16
その他	4	9
営業外費用合計	51	55
経常利益	96	221
税金等調整前四半期純利益	96	221
法人税、住民税及び事業税	4	2
法人税等調整額	30	79
法人税等合計	34	82
四半期純利益	61	139
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益	50	157

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	61	139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	211
繰延ヘッジ損益	△2	△7
為替換算調整勘定	371	137
退職給付に係る調整額	△1	205
その他の包括利益合計	374	546
四半期包括利益	436	686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	637
非支配株主に係る四半期包括利益	193	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	5,288	—	—	5,288	—	5,288	—	5,288
環境エンジニアリング・環境	—	183	—	183	—	183	—	183
環境エンジニアリング・機械	—	268	—	268	—	268	—	268
機能材料	—	—	244	244	—	244	—	244
ソーラー	—	25	—	25	—	25	—	25
その他	42	—	—	42	7	50	—	50
顧客との契約から生じる収益	5,331	477	244	6,053	7	6,061	—	6,061
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,331	477	244	6,053	7	6,061	—	6,061
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	5,331	478	244	6,054	7	6,061	△0	6,061
セグメント利益又は損失(△)	94	△8	20	107	0	107	△11	96

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△11百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△48百万円、営業外収益が52百万円、営業外費用が△14百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	5,259	—	—	5,259	—	5,259	—	5,259
環境エンジニアリング・環境	—	685	—	685	—	685	—	685
環境エンジニアリング・機械	—	201	—	201	—	201	—	201
機能材料	—	—	178	178	—	178	—	178
ソーラー	—	22	—	22	—	22	—	22
その他	32	—	—	32	4	36	—	36
顧客との契約から生じる収益	5,292	909	178	6,380	4	6,384	—	6,384
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,292	909	178	6,380	4	6,384	—	6,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	5,292	909	178	6,380	4	6,384	△0	6,384
セグメント利益又は損失 (△)	171	51	2	225	△0	224	△2	221

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△49百万円、営業外収益68百万円、営業外費用が△22百万円含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
該当事項はありません。